パナマ内政・外交（２０２２年２月定期報告）

２０２２年２月のパナマの内政及び外交につき、以下のとおり報告する。

【ポイント】
〇１日、カリソ副大統領兼大統領府大臣は、当国の経済活性化を促進するための国家イベントである、中国の新年を祝う春節祝祭に出席した。
〇１０日、コルティソ大統領は、アギラル文化大臣及びカリソ外務次官等を含む内閣改造を発表した。
〇４日、モイネス外相は、ニコルズ米国務省次官補と電話会談を行った。
〇１０日及び１１日、コルティソ大統領及びモイネス外相は、パナマにおいて開催された第５回米州エネルギー・気候パートナーシップ(ECPA)閣僚会議に出席した。
〇１１日付外務省プレスリリースにて、モイネス外相がパナマを訪問したNaam Miyaraモロッコ参議院議長と協議した旨発表した。
〇１１日、モイネス外相は、パナマで開催された第３６回ラテンアメリカ議会の通常議会に出席した。
〇１４日、モイネス外相はラミレス・コロンビア副大統領兼外相とオンライン会談を行った。
〇１６日、モイネス外相は、米商工会議所主催の会議にオンラインにて出席した。
〇２２日、モイネス外相は、パナマを公式訪問したジュベイル・サウジアラビア王国外務担当国務大臣と会談した。
〇２４日、パナマ政府はウクライナ情勢に関し、国連憲章の基本原則に反する昨今のウクライナでの事案に対し、強い遺憾の意を表明する旨の公式見解を発表した。
〇２４日、モイネス外相は、バチェレ国連人権高等弁務官（チリ元大統領）とオンラインにて会談した。
〇２５日、モイネス外相は、SICA外相理事会にオンライン出席した。

【本文】
●内政
１　内閣改造：文化大臣及び外務次官の交代等
（１）１０日、コルティソ大統領は、アギラル文化大臣及びカリソ外務次官等を含む内閣改造を発表した。
（２）アギラル文化大臣の在外への異動人事に伴い、後任として、ジセル・ゴンサレス・ビジャルエ（Giselle Gonzalez Villarrue） SerTV（国営放送局）社主を新文化大臣に任命した他、カリソ外務次官の非金融資産監督・規制局長（経済財務省内局）への任命に伴い、後任として、マルタ・エリダ・ゴルドン(Marta Elida Gordon)

外務省秘書官室長を新外務次官に任命した。
（３）また、シンディ・バネッサ・モンヘ・ゲラ（Cindy Vanessa Monge Guerra）環境次官の登記簿局次長への任命に伴い、ディアナ・ラグーナ・カイセド（Diana Laguna Caicedo）を新環境省次官に任命した他、陸運庁(ATTT)長官にカルロス・ボリス・オルドニェス（Carlos Boris Ordonez）を、SerTV（国営放送局）社主にエディ・アロンソ・アラウス・カバジェロ（Eddie Alonso Arauz Caballero）を任命した。

２　カリソ副大統領の春節祝祭出席
（１）１日、カリソ副大統領兼大統領府大臣は、当国の経済活性化を促進するための国家イベントである、中国の新年を祝う春節祝祭に出席した。
（２）カリソ副大統領は、パナマには少なくとも20万人以上の中国系国民がおり、全人口の約４％を占めていて、国家経済を促進するすべての部門に存在していると述べつつ、パナマ政府の熱心な後押しにより本年以降、中国の新年である春節をパナマにおける祭典の一つとして祝うことになったと強調した。なお、春節祭典は、500周年公園で開催され、カリソ副大統領のほか、各省閣僚及び次官、ガルシア・パナマ県知事及びファブレガ・パナマ市長が出席した。

３　新型コロナウィルス関連
（１）ワクチンの到着及びワクチン接種
　２月、ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）との直接契約分の児童用ワクチン25万2千ドースがパナマに到着した。２月末までに、760万197ドースのワクチン接種（ファイザー社及びアストラゼネカ社）が実施された。また、２５日現在までのワクチン接種率に関し、１回目ワクチン接種率は84.3%、２回目接種率は73.9%、３回目接種率は49.4%、５～１１歳の接種率は32.7%に達したと発表した。
（２）免疫抑制剤使用患者に対する４回目のワクチン接種の接種間隔
１７日、パナマ保健省は、１６歳以上の免疫抑制剤使用患者に対する４回目のワクチン接種の間隔を、３回目のワクチン接種から３か月以降とする旨発表した。なお、現時点では、パナマにおける同対象者への４回目ワクチン接種の開始時期については発表されていない。

●外交
１　モイネス外相とニコルズ米国務省次官補との電話会談
（１）４日、モイネス外相は、ブライアン・ニコルズ(Brian Nichols)米国務省次官補（西半球問題担当）と、本年半ばに開催予定の米州首脳会議（当館注１）に関

するロードマップに関し、電話会談を行った。
（２）同電話会談では、域内においてパナマが主導している不法移民問題に関する進捗状況について協議が行われた他、米国側より、パナマ、コスタリカ及びドミニカ共和国の３か国による「民主主義開発同盟」における不法移民問題に関する貢献と意義を認めるとの発言があった。

２　第５回米州エネルギー・気候パートナーシップ（ECPA）閣僚会議の開催
　１０日及び１１日、パナマにおいて、「公正で包括的な転換」というスローガンの下、南北アメリカ諸国の第５回米州エネルギー・気候パートナーシップ（ECPA）閣僚会議（オンライン及び対面方式）が開催され、コルティソ大統領及びモイネス外相等が出席した。同会議は、ジョン・ケリー米国気候変動問題担当大統領特使がビデオメッセージにて参加するとともに、アルマグロ米州機構（ＯＡＳ）事務局長他３３名の各国代表団が出席した。

３　モロッコ参議院議長のパナマ訪問
　パナマ外務省は１１日付同省プレスリリースにて、モイネス外相がパナマを訪問したNaam Miyaraモロッコ参議院議長をヘッドとする議員団と両国の二国間関係及び協力関係の潜在的な可能性につき協議した旨伝えている。

４　モイネス外相の第３６回ラテンアメリカ議会通常議会への出席
　１１日、モイネス外相は、パナマで開催された第３６回ラテンアメリカ議会（注）の通常議会に出席した。同議会において、モイネス外相は、中南米諸国におけるパンデミックによるネガティブな影響に対し、地域で立ち向かうため、域内の団結を呼びかけるとともに、域内における共通のアジェンダを有することが、ポストパンデミックから脱出する唯一の方法である旨強調した。
（注：ラテンアメリカ議会（Parlatino）：ラテンアメリカ・カリブ諸国で構成される議会で、パナマに事務局を置く。）

５　モイネス外相とラミレス・コロンビア副大統領兼外相との会談（オンライン）
（１）１４日、モイネス外相はラミレス・コロンビア副大統領兼外相と雇用創出に向けた投資促進等に関するオンラインによる会談を行った。
（２）両者は、教育、保健衛生、環境、観光、二国間の国境地帯における人や船舶の移動等の分野において、両国民への直接的に裨益を目的としたコロンビア-パナマ隣国統合委員会を復活させることの重要性につき協議した他、両国の移民局長が同席した会談では、不法移民問題に両国で取り組んできた結果として、不法移民の流入管理における前向きな進捗状況とフォローアップについて協議した。

６　モイネス外相の米商工会議所の会議（オンライン）への出席

１６日、モイネス外相は、米商工会議所主催の会議にオンラインにて出席した。同会議において、モイネス外相は、コスタリカ及びドミニカ共和国の外相とともに、経済成長の促進及び民主主義制度の強化を目的として、（３か国による）民主主義開発同盟に関する講演会に出席した。

７　ジュベイル・サウジアラビア王国外務担当国務大臣のパナマ訪問

（１）２２日、両国の経済・貿易関係緊密化を目的として、パナマを公式訪問したアーデル・ビン・アフマド・アル・ジュベイル・サウジアラビア王国外務担当国務大臣（Adel bin Ahmed Al-Jubeir）は、モイネス外相と会談した。今次会談のアジェンダとして両国は、将来的なグリーン水素燃料による脱炭素化とエネルギー転換に対するコミットメントにつき、最大の関心をもって取り上げた。

（２）なお、今回のサウジアラビア代表団の訪問は、すでに、要人のパナマ訪問を受け入れているアジア大陸諸国との政治・経済・社会・文化分野における二国間及び多国間協力を促進するというパナマ外交の意志を強化するものであり、今後数か月中には、インド及びトルコの外相のパナマ訪問が予定されている。

８　ウクライナ情勢に関するパナマ政府の見解

２４日、パナマ政府は、ウクライナ情勢に関する公式見解を発表したところ、概要以下のとおり。

（１）平和と多国間主義に基づき、対話を支持するパナマ政府は、国連憲章の基本原則に反する昨今のウクライナにおける事案に対し、強い遺憾の意を表明する。

（２）パナマは、人命の損失を回避するために、全ての努力が注がれることを勧告し、軍事力と暴力の使用の即時停止により現状の悪化が軽減されることを強く支持するとともに、本事案に対する国際社会の呼びかけに賛同し、グテーレス国連事務総長の声明を支持する。

（３）パナマは、対話と国際法を提唱する国として、平和、安全及び平穏への願いを新たにする交渉と外交チャネルが再開されることを強く願う。

（４）他方で、我々は、国際法に基づくウクライナの主権、政治的独立性及び領土保全を尊重するよう、呼びかける。

９　モイネス外相とバチェレ国連人権高等弁務官との会談（オンライン）の実施

２４日、モイネス外相は、バチェレ国連人権高等弁務官（チリ元大統領）とのオンライン会談において、中南米地域の包括的アジェンダと発展にかかる目標につき意見交換した。

１０　モイネス外相のSICA外相理事会（オンライン）への出席

２５日、第４回SICA-CARICOM首脳会議を前にオンラインで実施された中米統合機構（SICA）外相理事会において、本年上半期のSICA議長国として同諸国を率いるモイネス外相は、カリブ共同体（CARICOM）諸国とともに、課題に立ち向かい、すべての人々の持続可能な経済回復の達成を可能とする共同アクションプランを実施することの重要性につき、強調した。

（了）